

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年8月30日(2007.8.30)

【公開番号】特開2006-26032(P2006-26032A)

【公開日】平成18年2月2日(2006.2.2)

【年通号数】公開・登録公報2006-005

【出願番号】特願2004-207946(P2004-207946)

【国際特許分類】

**A 6 3 F 7/02 (2006.01)**

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 6 C

A 6 3 F 7/02 3 2 6 D

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月11日(2007.7.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1構成部と、該第1構成部に対して開閉可能に設けられる第2構成部と、該第2構成部が開放された遊技機開放状態であることを検出する開放センサと、該開放センサに接続される電源部とを備え、電源部からの電源供給状態下で、前記開放センサの検出信号を外部出力部を介して外部機器に出力する構成であって、

前記外部出力部に、遊技機側から前記外部機器側への信号出力のみを許容する信号規制機能を付加すると共に、前記開放センサに対して、前記電源部の主電源のオフ時にもバッカアップ電源から電源供給可能としたことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記開放センサを、遊技機開放状態か否かに応じて、前記バッカアップ電源に通じる電気経路を導通又は導通遮断の状態に切り換えるスイッチ手段を有する構成としたことを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記スイッチ手段を、遊技機開放状態で導通状態となるよう構成したことを特徴とする請求項2に記載の遊技機。

【請求項4】

前記外部出力部に、発光素子と受光素子よりなる信号出力素子部材を設け、前記開放センサにより遊技機開放状態を検出した時に前記発光素子を駆動状態として前記受光素子から前記外部機器に対して信号出力を行う構成としたことを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1つに記載の遊技機。

【請求項5】

遊技に関する制御を司るための演算装置を実装した制御基板と、該制御基板を収容する基板ボックスとからなる制御装置を備え、その制御基板上に信号中継回路部を設け、前記信号中継回路部を介して前記開放センサの検出信号を前記外部出力部に出力することを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1つに記載の遊技機。